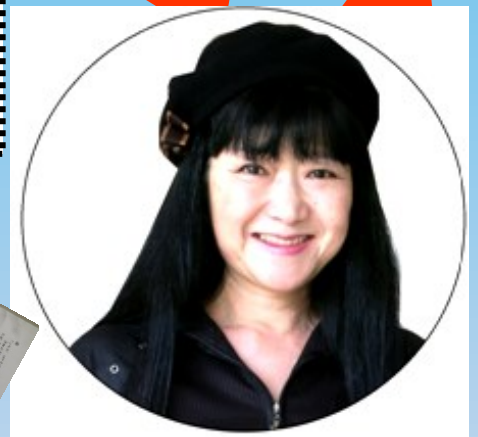


第6回 三原ふるさと 子ども博士講座

令和元年10月14日（月／祝）に中央公民館で行われた「第6回三原ふるさと子ども博士講座」今年も講師として、絵本作家の **永井 郁子** 先生におこしいただきました。永井先生におしえてもらいながら、久井につたわる昔話『だまされた国造のたぬき』を10の場面に分け、それぞれの場面にあった絵を考えながら絵をかくという本格的な絵本づくりを体験しました。



永井 郁子 ながい いくこ

本郷町出身。

「わかったさんのおかしシリーズ」「かいぞくポケット」など、多くの絵本イラストを手がける。

2009年には三原ふるさと大使に任命され、三原の子ども達のために精力的に活動を行っている。

『だまされた国造のたぬき』

久井町の国造という深い山道に、千年も生きているふるだぬきがすみついていました。

日が暮れたあとに村人がそこを通ると、必ずだまされてしまいます。

羽倉村の与さんは、江木で買い物をした帰り道にたぬきにだまされかけてしまいますが、機転を利かせて、どこか腰をかけるところが欲しいとうそぶき、たぬきのきんたまを石に化けさせます。

きんたまの石に腰をかけ、きんたまの石の上でキザミタバコを燃やして見事たぬきの化けの皮をはがしました。

それからというもの、国造には一度もたぬきが出ることはなくなりました。

講座のようす



さんこうイラストをもとに、絵のイメージを
ふくらませていきます。



分からないところがあったら、永井先生が
ていねいに教えてくれます。



書きおわったら一人ずつはっぴょうします。
きんちょうせずうまく読めるかな！？



最後に永井先生が絵をほめてくれました。
すてきなかみしばいが4つ、出来上がりましたね。



最後はみんなで記念撮影。
永井先生、本当にありがとうございました！